

図画部門審査講評

柴 崎 充 弘

山形市立南山形小学校校長

「じはん・お米とわたし」作文・図画コンクールは、第二十五回を迎えたこと、お祝い申し上げます。児童生徒が、稲作農業に関心を持ち、農業の大切さや、ごはん食への思いや願いを絵で表すことは素晴らしいことです。働くことの喜びや生活からの感動が伝わってきます。

今年度の図画部門の応募点数は、県内各地の一〇〇校の小学校から、八一五点集まりました。全国審査の結果もすばらしく、文部科学大臣賞一名と優秀賞に三名の計四名が受賞いたしました。県の入賞者も合わせて、入賞者の皆さん、誠におめでとうございます。応募された他の皆さんの作品も絵を描く感動や生活の喜びや驚きが伝わってくる良い作品がたくさんありました。では、県審査の中から知事賞と県中央会長賞の作品紹介と学校奨励賞の紹介をいたします。

第一部（小学校一年生から三年生）の「大きなおにぎりいただきます」（山形市立南山形小学校三年・半田さやか・県知事賞）は、大きなおにぎりをおいしそうにほおばっている様子を生き生きと大団に表現しています。おいしさが伝わってくるような楽しい絵です。

「たくさんみのつたよ」（最上町立大堀小学校三年・菅友絵・県中央会長賞）は、いねの穂が実り、収穫の喜びにあふれた生き生きした作品です。いねの穂がリズムよく並んでいます。明るい色調で誠実に描かれた絵です。

第二部（小学校四年生から六年生）「田植え」（尾花沢市立王野小学校四年・菅野慎也・県知事賞）は、田植えの風景をよく観察して描いています。空の色や田んぼに映る色、土手のトラック、たんぼのわた毛、人物、苗を植えこむ人の手足の動きをよく表わし、画面から風がふいてきそうです。

「ぼくもがんばろう」（尾花沢市立福原中部小学校六年・小野麻里子・県中央会長賞）は、田植えをする家族を画面を工夫して新鮮な視点で描いています。「よしがんばるぞ」という思いのぼくがよく描かれています。ぼくに作者の気持ちを重ね合わせて描いたのでしょう。

第三部（中学校一年生から三年生）「田植えのひと休み」（山形市立金井中学校三年・長寛絵理・県知事賞）は、田植えのころの水面に映る山の美しさをよく表わしています。これからのひと働きを思い、楽しみに談話している人物がよく描かれています。自分なりの技法で自信をもった表現です。

「昼の休息」（米沢市立第四中学校二年・齋藤利恵・県中央会長賞）は、田植えしたばかりの田んぼで、秋の収穫を思い、昼食をとっている表情がとてもほほえましく感じます。稲に対する愛情が表れ、透視法による遠近感など構図にも自分なりの工夫が見られます。（以上の評は、審査員四名で話し合った結果を各々まとめたものです。）

学校奨励賞は、小学校では、山形市立南山形小学校です。応募された作品はそれぞれ、自分の思いや願いなどがよく表現されていて、自分なりの発想で自信を持って表現しようとしている作品が多く、学校の地域性を感じさせられました。稲作農業への関心が高く、いい表現をしていたので選ばせてもらいました。

中学校では、山形市立金井中学校が昨年に続いて選ばれました。本校は毎年多数の質の高い作品を応募される学校です。稲作農業に対する関心の高さや学習の取り組みの真剣さがかがわれます。農業に従事する人々の喜びや感動を自分の心情や感覚で誠実に絵で表現しています。人々のくらしや風景をよく見つけ描き込んだ作品が多かったので選ばせてもらいました。

全国審査への推薦作品の中から、文部科学大臣賞に長岡和美さん（山形市立金井中学校三年）、優秀賞に阿部 凌さん（寒河江市立寒河江小学校一年）、菅野慎也さん（尾花沢市立王野小学校四年）、長寛絵理さん（山形市立金井中学校三年）の三名の計四名が選ばれました。誠におめでとうございます。

来年度も、数多くの作品を応募されますようご期待いたします。二十一世紀に生きる子どもたちが、今後ますます絵を